

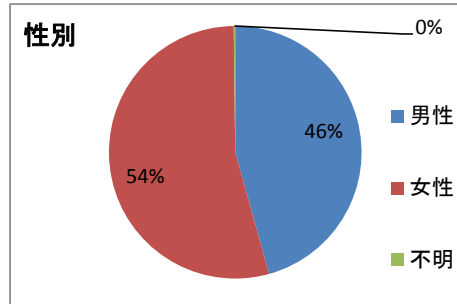
公共交通に関するアンケート調査結果

調査内容

調査期間 平成26年8月8日(金)から8月29日(金)まで
 配布対象者 18歳以上の市民の中から無作為に1,000人抽出
 配布方法 郵送(返信用封筒同封)
 回収状況 52.1%(521人)

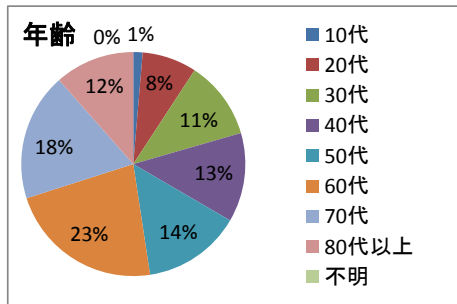
1-1 性別

・男性が46%、女性が54%と女性の回答が多い。



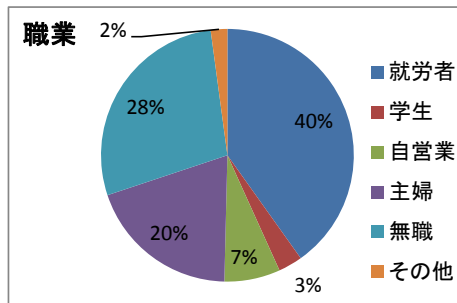
1-2 年齢

・各世代から回答を得ているが、60代が22%と多く、次いで70代、50代と比較的高齢者の回答が多い。



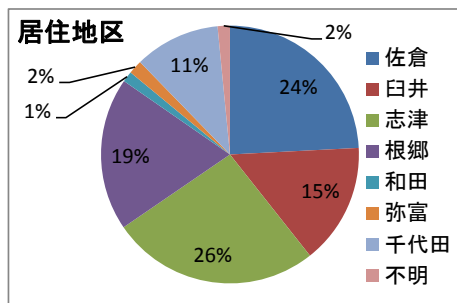
1-3 職業

・就労者が多く、次いで無職、主婦となっている。



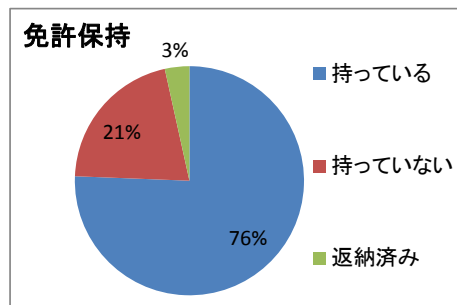
1-4 居住地区

・志津地区、佐倉地区、根郷地区、臼井地区、千代田地区の回答が多い。



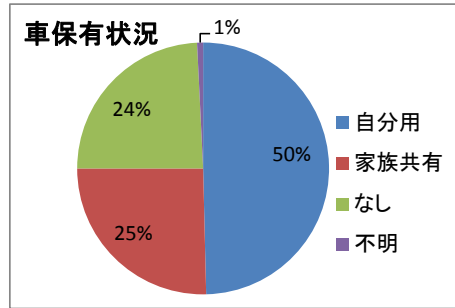
1-5 免許保持状況

・運転免許証を持っている人が多数を占めている。
 返納済みの人はごくわずか。



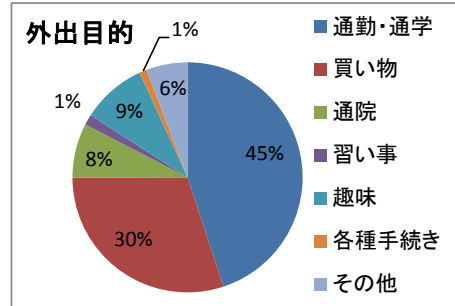
1-6 車・オートバイ等の保有状況

・自分が自由に使えると回答の人は半数を占めており、家族と共有を合わせるとなしに比べ圧倒的に多い。



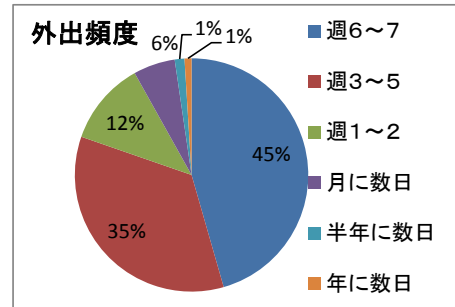
2-1 外出回数の多い目的

・通勤・通学が一番多く、次いで買い物、通院と続く。



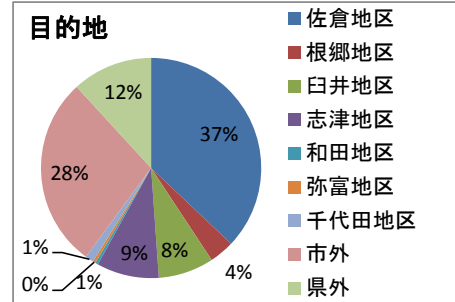
2-2 外出頻度

・週6~7、週3~5日が多く、なかには年に数日しか外出しない人もいる。

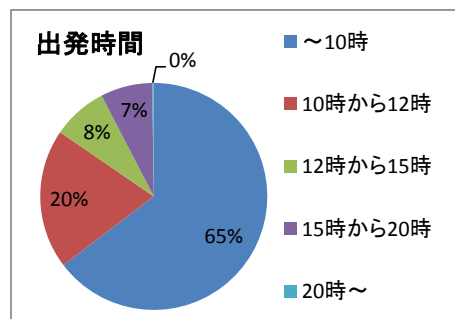


2-3 主な目的地

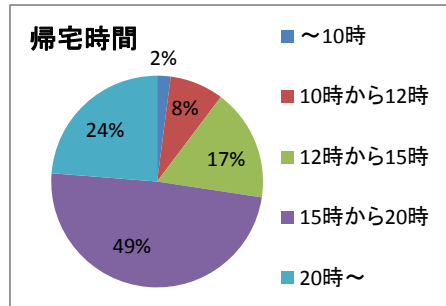
・佐倉地区の次に市外に行く人が多い。



2-4 出発時間

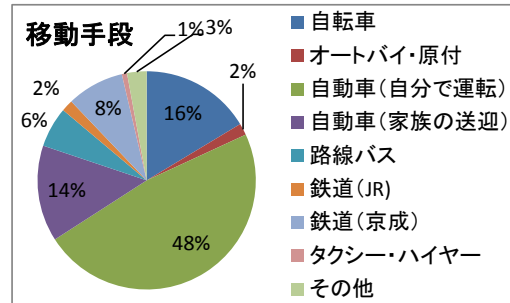


2-5 帰宅時間



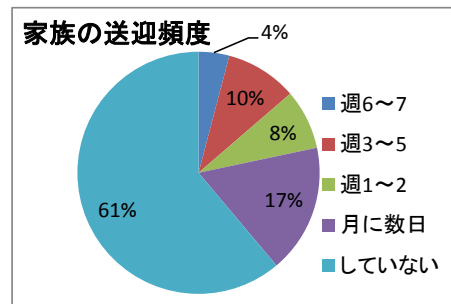
2-6 移動手段

・自動車を自分で運転する人が半数程度占めており、自動車を使用する頻度が高い。



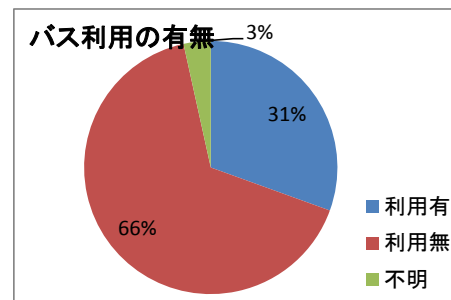
2-7 家族の送迎頻度

・家族を目的地まで送迎する人は非常に少なく、ほとんどの人は、家族の送迎をしていない。



3-1 バス利用の有無

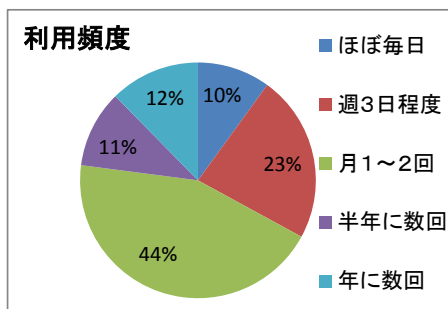
・バスの利用については、多くの人が利用していない。



以下、「3-1」で「①利用している」を選択した人が回答

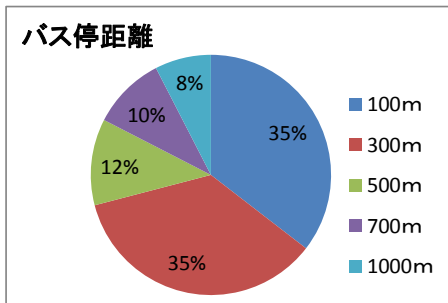
3-2 利用頻度

・バスを利用している人の中で、多くの人は月に1・2回の利用となっている。



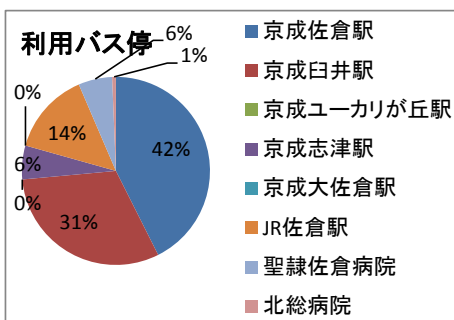
3-3 バス停距離

・自宅からバス停までは、100m・300mが多く、比較的バス停から近い人の利用が多い。



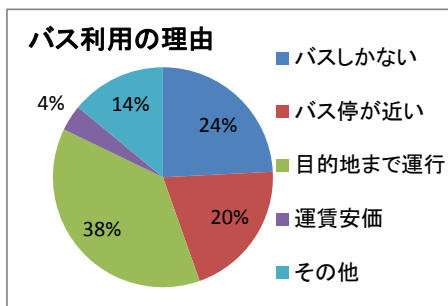
3-4 利用するバス停

・最寄りのバス停から京成佐倉駅・京成臼井駅への利用が多い。



3-5 バス利用の理由

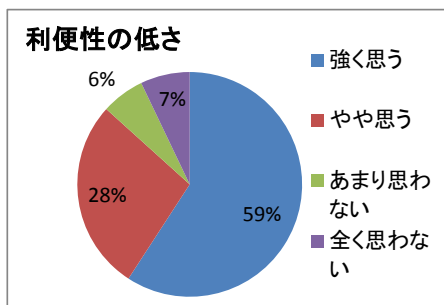
・目的地までバスが運行しているが多く、次いでバスしかない、バス停が近いの順となっている。



以下、「3-1」で「②利用していない」を選択した人が回答

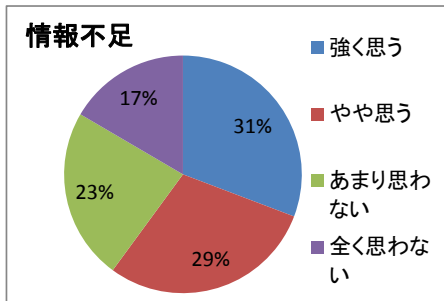
3-6 利便性の低さ

・バスを利用していない理由として、自動車等で移動するほうが便利だからと思う人が、非常に多い。



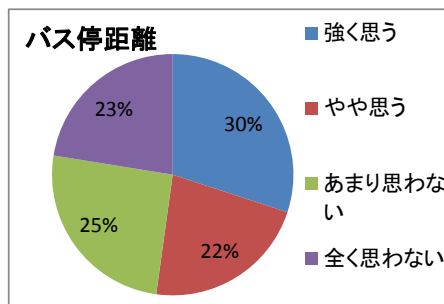
3-7 情報不足

・利用できるバスや、時刻を知らないと思う人の数が多い。



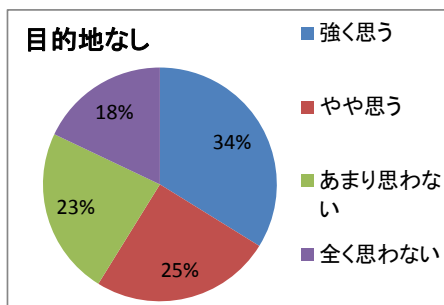
3-8 バス停距離

・バス停までの距離が遠いと思う人は、強く思うとやや思うを合わせて半数を超えている。



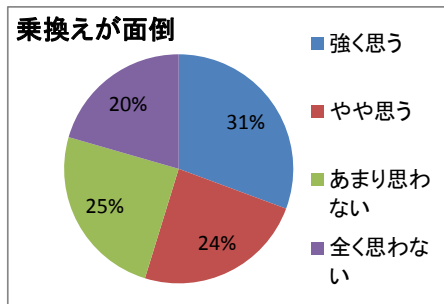
3-9 目的地なし

・バスを利用しない人は、バスが目的地まで行かないからと強く思う回答が多く、やや思う、あまり思わないと続く。



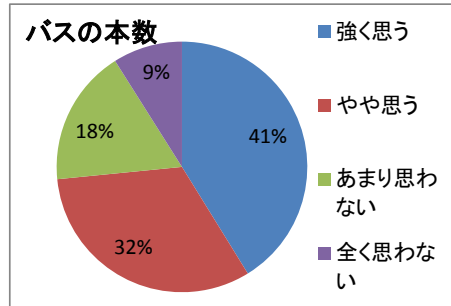
3-10 乗換えが面倒

・乗換えが面倒だと思う人は、強く思うとやや思うを合わせて半数を超えている。



3-11 バスの本数

・バスの運行本数が少ないと思う人は、70%を超えている。

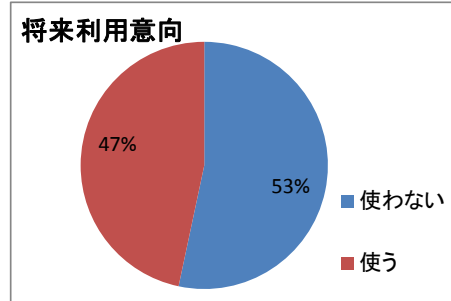


3-12 将来利用意向

・今、バスを利用しない人の中で、将来も使わない人が53%いる。
理由については、意見の多いものを抽出した。

- ①将来も使わない
- ・近くにバス停がないため
 - ・車のほうが便利だから
 - ・本数が少ないので使えない
 - ・不便・路線がない

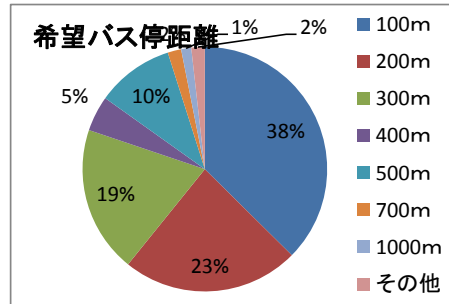
- ②将来は使う
- ・高齢になるので自家用車を運転しなくなると思う
 - ・路線と時間が合えば
 - ・本数があれば使いたい
 - ・バスが運行されればいつでも利用する気持ちはある



以下は、全員が対象

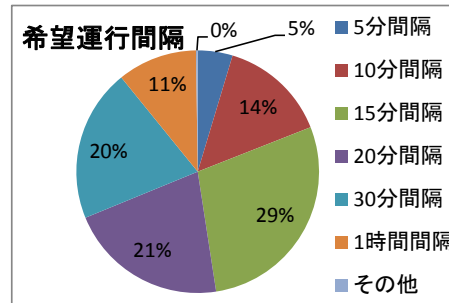
4-1 希望バス停距離

・バス停までの希望の距離は300mを超える回答もあった。



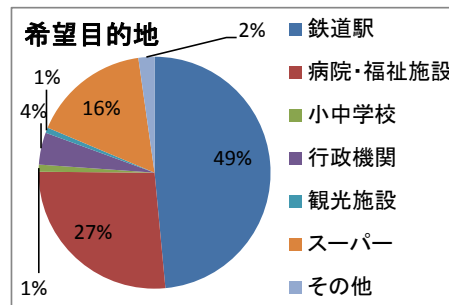
4-2 希望運行間隔

・運行間隔については、15分程度が多く、中には1時間間隔でもよいと回答があった。



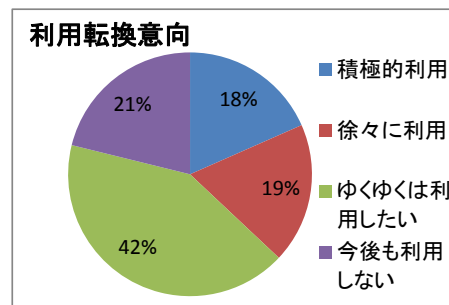
4-3 希望目的地

・もっとも行きたい場所は、鉄道駅でほぼ半数を占めている。病院や、スーパーも回答が多い。



4-4 利用転換意向

・今は利用しないが、ゆくゆくは利用していきたいと思う人が多く、全体的に公共交通の必要性は高いと思われる。



質問5 自由意見の中で意見が多いものを抽出

運行改善関係

- ・路線がわからない。
- ・時刻がわからない
- ・京成電車との乗継
- ・運行の遅れ
- ・バス停に屋根の設置

運行継続関係

- ・循環バスがあるおかげでとても助かっている
- ・廃止されると困るので頑張ってほしい
- ・自動車など使えない人にとってバスは有効な移動手段
- ・高齢化が進むと思われるのでバスの利用ができるのはありがたい
- ・高齢化に伴い、免許証を返納するので利用したい

料金関係

- ・料金が安い

バス運転手関係

- ・従業員の教育徹底など運転手に対する苦情

新規運行関係

- ・千成の中を通るバスがあれば利用したい
- ・市街地はバス路線があるが調整区域等はバス路線がない
- ・畔田はバスがない
- ・青菅・先崎は不便。バスが通ってほしい
- ・スクールバスなど、小中学校と連携して増やすと良い

本数関係

- ・京成佐倉とJR佐倉を20分毎に結ぶ運行が良い
- ・小学生のためにも、朝・夕の時間にもう少し本数を増やしてほしい
- ・もっとバスの本数が増えれば利用したい
- ・土日の便数を増やしてほしい。夜7時以降の運転もお願いしたい
- ・J・R佐倉駅から京成臼井駅の便を増やしてほしい

行き先関係

- ・病院やスーパーに行ってほしいです。
- ・市内循環より、地区と駅や病院を結ぶ路線はどうでしょうか
- ・畔田は高齢者がとても多いのでスーパーまで等バスがあった方が良くと思います
- ・老人はバスがないと不自由。市役所、ベイシア。JR佐倉駅より東邦病院行き、聖隷病院行きが必要
- ・年齢を重ねたら自家用車の運転も不可能と思います病院スーパー市役所等循環バスがあれば便利

デマンド等関係

- ・ワンコインバスを行政が運行すべき
- ・乗合タクシー等を考えて
- ・バス交通よりもワゴン車クラスの乗合タクシーに方向転換すること
- ・道路が狭く部落内巡回式でマイクロバスが良い
- ・デマンド交通のような案も必要では

その他

- ・状況が変わらない限りは、バスを利用できない
- ・バスを利用する距離ではないため、今後も乗車することは無い
- ・いざという時の交通手段として頼りにしている大事な交通手段
- ・現状バス停が家から遠いので自家用車中心は変わらなと思います
- ・バスが通っていることを知りませんでした